

阪大神大新人運営大会 2014年1月18日 大阪府箕面市

阪大神大新人運営大会は阪大 OLC で毎年恒例となっている新人主体の大会です。昨年に引き続き大会の名を冠すると同時に今年はさらに神大 OLC の新人も運営に関わっていることを強調した名称としました。今年度の大会は残念ながら競技不成立となってしまいましたが、貴重な経験を積ませていただきました。

2014年1月18日 大阪府箕面市  
阪大神大新人運営大会



会場の運営者の様子

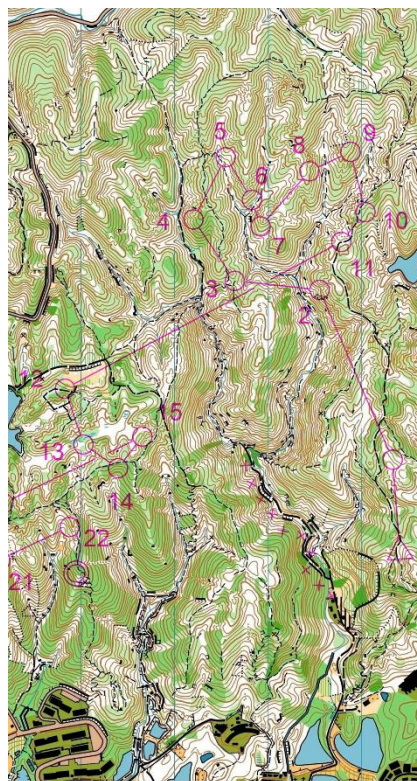
## 運営の大変さ

この大会が動き出したのは10月下旬頃でした。先輩から、新人が運営する機会を設けるからとりあえず役職を決めてねと言われ、軽い気持ちで引き受けた運営責任者という役職でしたが、まさかこんなに忙しくなるとは当時思ってもみませんでした。

運営責任者は仕事を振るのが仕事です。どんな仕事があるのかまず自分が把握し、そして他の人に仕事を任せ、きちんとこなせているか監督する。これが大まかな仕事でしたが、なにせ私自身もともと期日までに云々といった作業があまり得意ではなかったもので途中トラブルも少なくありませんでした。例えば自分が仕事を振るのが遅れてしまったためにその仕事の担当者にごく短い期間での仕事を強要することになってしまった、など…。周りの人々を苦勞させながらもなんとか準備を進めていきました。

## 「みのお」というトレイン

みのおといえば猿、紅葉の天ぷら、滝などが一般的に有名だと思いますが、阪大 OLC にとってはもっとも馴染みのあるトレインで、新人運営の場にはここ以外には考えられません！（単に大学に近くて運営が楽だったからです）しかしトレインの特徴としては関西トレインでも随一の傾斜を誇り、その坂を登ろうとする者の心を砕きます。今回の大会ではそんなみのおをLLクラスで参加、走破される方々がたくさんいらっしゃって驚きました。



## 大会当日

前日から積もった雪がトレイン内に僅かに見られながらも天気には恵まれ青空の広がる中大会当日を迎えることができました。さらには参加者も100人弱という去年をさらに上回る大規模な大会となり 大会自体の成長と共に自分たちの組織としての成長も感じることができました。また参加者は老若男女様々な層から成っており、その会場の光景はオリエンテーリングというスポーツならではの感銘を受けました。

しかし当日の運営は当然といえば当

然ですが、すべて順風満帆というわけには行きませんでした。会場の設営が予定していた参加者への開場時間ギリギリになったこと、ウィンブレ輸送が当初の想定をはるかに上回る重労働となってしまったこと…などあげればキリがありません。ほとんどのトラブルは些細なものであったのですが、運営側のミスで大会が競技不成立となってしまったことは運営者全員がショックを受けたと同時に参加者の方々には本当に申し訳なかったです。

## 大会を終えて

出会うわずか1年で大会の運営をする、そんな体験は他のスポーツではほとんどできないのではないのでしょうか。そこもオリエンの魅力といえるのではないかと思います。

今回運営に携わったのは20人弱と去年よりも仕事の分担に余裕をもって割り振ることができたと思います。皆、一生懸命に取り組んでくれ、より大会としての体裁の整ったものに仕上がってきたと感じました。私はこの同期たちと共に仕事ができたと嬉しく思います。

阪大 OLC も神大 OLC もこれからさらに発展していけるように努力していきます。次回は新たに新人たちがより素晴らしい大会を開いてくれると信じているので、次回大会も楽しみにして頂ければ幸いです。

最後になりましたが大会運営に際して様々アドバイスや手助けして下さったアドバイザーの先輩方、そして参加して下さった方々本当にありがとうございました。



大会終了後の様子

(岩城大行)